

2011 年度日本農業経済学会第 1 回常務理事会の概要

○開催日時：2011 年 8 月 1 日（月）14:00～16:40

○開催場所：東京国際フォーラム G401 会議室

○出席者：本間正義会長、盛田清秀副会長（学会誌）、斎藤修副会長（学会賞・国内学術（17 名）交流）、末原達郎副会長（国際交流）、柳村俊介副会長（企画）、小林弘明常務理事（和文誌編集）、荒山裕行常務理事（英文誌編集）、納口るり子常務理事（学会賞・国内学術交流）、立川雅司常務理事（国際交流）、南石晃明常務理事（企画）、仙北谷康常務理事（北海道地区）、徳田博美常務理事（中部地区）、高田理常務理事（近畿地区）、駄田井久常務理事（中国地区）、白武義治常務理事（九州地区）、江川章常務理事（庶務担当）、（財）農林統計協会・武石氏（事務局）

○欠席者：千年篤常務理事（財務）、寺内光弘常務理事（情報）、木下幸雄常務理事（東北地区）（5 名）、酒井富夫常務理事（北陸地区）、大隈満常務理事（四国地区）

1. 協議議題

（1）2012 年度学会大会について

- ・ 企画委員会は柳村副会長（委員長）、南石常務理事、小林常務理事、荒山常務理事、柏理事で構成し、委員長が出席を要請した末原副会長、立川常務理事も加えて第 2 回企画委員会が 8 月 1 日の午前中に開催された。
- ・ 企画委員長より、第 2 回企画委員会での議論結果について報告があり、2012 年度大会（2012 年 3 月 29 日～30 日、九州大学）のテーマは「我が国が抱える食のリスクと日本農業の課題－日本農業のベースラインⅡ－」（仮題）とし、座長を柳村副会長および宮城大学の川村保会員（本人内諾済み）とすることが承認された。
- ・ 2012 年度大会では、上記のシンポジウムと合わせ、ミニシンポジウム（震災関連）、日韓シンポジウム（口蹄疫、鳥インフルエンザ、危機管理等）を開催することが承認された。
- ・ 今後は企画委員会を通じて、報告の柱に沿った報告者やコメンテーターについて人選を進めることが了承された。
- ・ 企画担当常務理事より、会場となる九州大学の準備状況が報告された。

（2）学会誌関係について

- ・ 学会誌担当副会長および英文誌編集担当常務理事から、現在、日本農業経済学会論文集の掲載対象としている論文のうち、英語論文を学会英文誌（JJRE）に収録することについて提案があり、移行時期や出版社との関係に留意しながら検討をすすめ、2013 年度から実行できるよう対応することを承認。また、本件については、早いうちに原案を示し、学会理事から意見を聞くことを確認した。
- ・ 学会誌担当副会長および英文誌編集担当常務理事から説明があり、出版社や科研費との関係を考慮したうえで、学会英文誌（JJRE）の ISSN の取得申請をすすめることを承認。

（3）財政（会計）関係について

- ・ 財務担当常務理事（欠席）に代わって庶務担当常務理事から説明があり、平成 23

年度会計方針（案）が提案され、来年度の会員名簿発行は従来どおりとし、その一方で会員名簿の電子版化については来春の総会で提案できるよう、関係する常務理事（財政、庶務、情報）で議論し、検討をすすめていくことを確認。また、国際交流費は一般会計からではなく、特別会計Ⅱから支出とすることを承認。

- ・ 国際農業経済学会日本支部（IAAE-JB）の解散に伴って移譲を受ける基金は特別会計Ⅱで運用することを承認（同基金を活用した JB 賞については後述）。

（４）国際農業経済学会日本支部（IAAE-JB）の解散と基金の移譲等について

- ・ 国際農業経済学会日本支部（IAAE-JB）の解散に伴い、同支部が保有する基金（JB 基金）を日本農業経済学会に移譲するとともに、JB 賞を継承して欲しい旨の依頼が同支部長からあったと会長より説明があり、基本的に了承した。
- ・ JB 賞にかかる規程については国際交流委員会が学会賞との関係に留意しつつ検討を進め、2012 年度（同年度の国際農業経済学会ブラジル大会）から JB 基金が活用できるよう対応することを承認。

（５）名誉会員の推薦手続きについて

- ・ 会長から説明があり、役員業務等に関する細則に記されている名誉会員の推薦手続きについて、慣例に従うように改訂し、理事会に諮ることを承認。

（６）学会理事の欠員補充について

- ・ 庶務担当常務理事から説明があり、市田知子会員（明治大学）が推薦され、会長指名理事とすることを承認。また、次期庶務担当常務理事の選出校を明治大学（当大学の内諾済）とすることを確認。

2. 報告事項等

（１）学会誌関係

- ・ 和文誌担当常務理事より、和文誌の編集状況について報告があり、第 83 巻第 2 号（2011 年 9 月刊行予定）まで編集作業が完了していることが報告された。なお、欠員となった編集委員は他編集委員がカバーするため、補充しないことを確認。また、農業経済学会論文集については編集委員会を拡充し、大会延期措置によって提出締切を 1 ヶ月延ばしたが、例年どおり 12 月刊行とすることが報告された。
- ・ 英文誌担当常務理事より、英文誌の編集状況について報告があり、前述したように日本農業経済学会論文集所収の英語論文を学会英文誌（JJRE）に収録するために検討を進めることを確認した。

（２）学会賞関係

- ・ 国内学術交流担当副会長から、日本農業経済学会賞の推薦について学会 HP や学会誌で募集案内を開始することが報告された。
- ・ 第 10 回日本農学進歩賞については、7 月末に候補者の選定と申請が完了したこと、また平成 24 年度の日本農学賞にエントリーするため、準備を進めていることが報告された。

（３）国際交流関係

- ・ 東日本大震災による日本農業経済学会の延期により、韓国側から提案された韓国農業経済学会（2011 年 6 月 23 日～24 日、韓国済州島）での日韓台共同シンポジウム「The Structural Adjustment in Agriculture-Case of Korea, Taiwan and Japan」の概要について国際交流担当副会長より報告があった。
- ・ 2012 年度日本農業経済学会大会で日韓シンポジウムを開催すること、ならびに韓

国側を招待することについて先方の了解を得たことが報告された。なお、日韓シンポジウムの開催にあたっては、ミニシンポジウムと時間帯が重ならないよう工夫することが留意事項としてあげられた。

(4) 情報関係

- ・ 情報担当常務理事（欠席）に代わって庶務担当常務理事より、学会 HP の新着情報についてのカテゴリーを検討すること、学会誌のアーカイブ化ならびに名簿の電子化について検討し、今年度中に方針を出すことを確認。

(5) 事務局関係

- ・ 日本農業経済学会 2011 年度早稲田大会（2011 年 6 月 11 日～12 日）の参加者等の実績と決算、大会参加費・懇親会費事前振込み者に対する今後の対応について学会事務局より報告された。また、名誉会員に対する所要の手続きを完了したことが報告された。

3. 連絡事項等

- ・ 2011 年度は任期 2 年目になることから、新理事の選出等の手順も含めた年間スケジュールを確認。主な 2011 年度の学会行事日程（案）は次のとおりであり、第 2 回常務理事会は 2012 年 3 月 11 日（日）、午後を予定。
- ・ 地区担当常務理事より、農業をめぐる内外の環境変化を踏まえ、国際的な研究ネットワークを構築することの必要性が提起され、IAAE をはじめとする関係機関を活用し、学会として国際交流を充実させていくことが確認された。

【2011 年度の学会行事日程（案）】

2011 年 12 月 19 日（月）	個別口頭報告・ポスター報告の受付締切
2012 年 1 月 6 日（金）	特別セッションのエントリー締切
8 日（日）	関東地区理事会・拡大企画委員会
3 月 11 日（日）	第 2 回常務理事会
12 日（月）	個別口頭報告・ポスター報告・特別セッションのファイル締切
28 日（水）	正副会長等会議、理事会、シンポジウム打ち合わせ等
29 日（木）	シンポジウム、総会、新理事会（会長・副会長の選任）、懇親会
30 日（金）	個別口頭報告・ポスター報告・特別セッション等

以上。